

郷土玩具

歴史と特色

城下町金沢では行事や風習とともに、子供たちの夢を育んできたおもちゃや人形が、無名の職人によって心をこめて作り伝えられてきた。

加賀人形は、5代藩主綱紀が京都より人形職人を招き、御所人形の製作修理にあたらせた事が始まりとされている。後に、獅子舞等の姿を写した人形が作られるようになった。

また、張り子で作られた八幡起上りは、八幡様の祭神である応神天皇をうやまう翁が、天皇の御幼体を赤い綿布で包んだ形を作ったのが始まりとされ、七転び八起きの縁起の良さが人々に愛されてきた。他に小型化した加賀獅子頭、もちつき兔や米くいねずみのからくり人形を母体としたものや、竹や布紙で作った旗源平、張り子には干支の起上り、俵牛、犬張子、首振り虎などがある。土人形は大方廃絶し、家の新築時の便所の神様がわずかに残っている。

HISTORY & FEATURES

Various local toys are produced in Kanazawa: Kaga dolls that represent figures dancing the Kaga lion dance; Hachiman tumble dolls; miniature Kaga lion heads; mechanical dolls such as rice-cake pounding rabbits and rice-biting mice; Gempei flag capture game; paper tumble dolls and bobbing-head dolls in the shape of animals; and clay dolls to be buried on the construction site of a toilet before a house is built.

情報 INFORMATION

主な生産地	金沢市 (Kanazawa City)
主な製品名	加賀獅子頭、加賀人形、八幡起上り (Kaga lion heads, Kaga dolls, Hachiman papier-mache tumble dolls)
主な生産者	中島めんや (Nakashima Menya) 〒920-0902 金沢市尾張町2-2-18 TEL (076) 232-1818 加賀人形店一晃 (Kaga Doll Shop Ikko) 〒921-8106 金沢市十一屋町13-12 TEL (076) 241-2951

歴史と特色

平安時代にはすでに琴の名が使われていたが、現在のような13弦の箏 [そう] を琴と呼んだのは鎌倉時代以降と言われている。金沢における琴の製造は江戸時代に入ってからで、武家の女性の教養の一つとして数えられた。

明治以降も女性のたしなみとして城下町金沢の生活に根ざっていた。第2次大戦後、琴の需要は増加しているが、芸術的表現と優れた技術を必要とするため、原木から一貫して製造する業者は少なくなっている。

また、部分的に華麗な蒔絵や螺細を施した楽器であり、美術工芸品でもある。

琴には関東を中心とした山田流琴と、関西を中心とした生田流琴があり、金沢では、山田流琴が主に生産されている。

HISTORY & FEATURES

The production of 13-stringed harps started in Kanazawa in the Edo period. Playing the harp was considered to be one of the arts that ladies of samurai warriors' families should master. Since the Meiji period as well, it has been considered an important skill for women to acquire. Decorated with magnificent *maki-e* lacquer and *raden* (shell inlay) motifs, the koto is a splendid work of art.

情報 INFORMATION

主な生産地	金沢市 (Kanazawa City)
主な製品名	山田流琴 (Yamada-school kotos)
主な生産者	野田屋琴三弦店 (Nodaya Koto and Sangen Shop) 〒920-0853 金沢市本町1-8-9 TEL (076) 221-2870

Koto (Japanese Harp)

琴